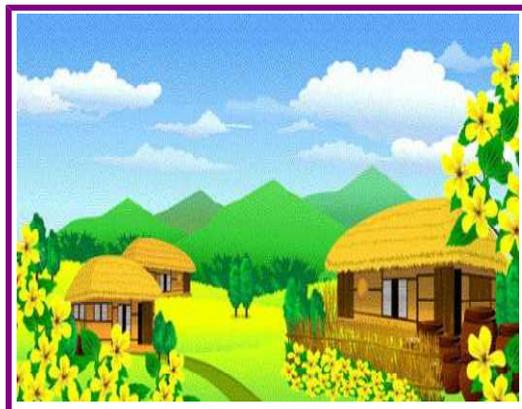


# めぐみイエス・キリスト教会

2019年10月6日(日)第一主日礼拝  
週報「通算第476号」



2019年標題聖句

第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまづくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年10月6日 第一主日礼拝  
聖日礼拝 午後6時

司会 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

- 【前奏祈祷】
- 【賛美 I】 新聖歌248 「人生の海の嵐に」 p. 382
- 【交読文】 No.43 詩篇第136篇 p. 913
- 【賛美 II】 新聖歌343 「罪に満てる世界」 p. 546
- 【使徒信条】
- 【主の祈り】
- 【先週説教】
- 【賛美 III】 オリジナルNo.8 「神様の愛の言葉」
- 【聖書朗読】 ヨハネの福音書19章31節～37節(新約p. 202下段)
- 【祈 禱】
- 【説 教】 《目撃した者》 鈴木 竜実 牧師
- 【聖 餐 式】
- 【賛美 IV】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235
- 【平和祈り】
- 【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85
- 【祝禱後奏】

●ポイント1.「彼の骨は一つも砕かれない」と言う預言の成就とは？

※詩篇34篇20節「ダビデによる十字架描写から」 (旧約p.859)

34:20 主(ヤーヴェ)は、彼の骨をことごとく守り、その一つさえ、砕かれることはない。

※民数記9章9節～12節「過越のいけにえのおきて」 (旧約p.225)

9:10 「イスラエル人に告げて言え。あなたがたの、またはあなたがたの

子孫のうちでだれかが、もし死体によって身を汚しているか、遠い旅路にあるなら、その人は主に過越のいけにえをささげなければならない。

9:11 第二月の十四日の夕暮れに、それをささげなければならない。種を入れないパンと苦菜と一緒にそれを食べなければならない。

9:12 そのうちの少しでも朝まで残してはならない。またその骨を一本でも折ってはならない。すべて過越のいけにえのおきてに従ってそれをささげなければならない。

### ●ポイント2.「彼らは自分たちが突き刺した方を見る」預言の成就とは？

#### ※ゼカリヤ書12章9節～10節「主の日の預言から」 (旧約p.1431)

12:9 その日、私は、エルサレムに攻めて来るすべての国々を捜して滅ぼそう。

12:10 私は、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと哀願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、私を仰ぎ見、ひとり子を失って嘆くように、その者のために嘆き、初子を失って激しく泣くように、その者のために激しく泣く。

#### ※ヨハネの黙示録1章7節 「主イエス様の再臨」 (新約p.437)

1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。

### ●ポイント3.「目撃した者」とは、誰なのか？

#### ※ヨハネの福音書18章15節～16節「もうひとりの弟子」 (新約p.199)

18:15 シモン・ペテロともうひとりの弟子は、イエスについて行った。この弟子は大祭司の知り合いで、イエスと一緒に大祭司の中庭にはいった。

18:16 しかし、ペテロは外で門のところに立っていた。それで、大祭司の知り合いである、もうひとりの弟子が出て来て、門番の女に話して、ペテロを連れてはいった。

#### ※ヨハネの福音書20章1節～8節「主が復活された朝」 (新約p.203下段)

## ◎先週のメッセージの概要【「私は渴く」「完了した」】

《今日は、イエス様が十字架上で語られた7つの言葉から学んで行きます。

最初の言葉は、「父よ。彼らをお許し下さい。彼らは何をしているのか自分で分からないのです。」これは、ローマ兵への取りなしの祈りです。もしかしたら、イエス様が埋葬された墓の見張りをしたのもこの4人ではないでしょうか。

次の言葉は、同じく十字架につけられていた強盗の一人に「まことに、あなたに告げます。あなたは今日、私と共にパラダイスにいます。」でした。

そして先週学んだ箇所から、母マリヤに「女の方。そこにあなたの息子がいます。」続けて愛する弟子ヨハネに、「そこにあなたの母がいます。」

その次に言われた言葉は、「わが神、わが神。どうして私をお見捨てになったのですか。」であり、そして5番目に「私は渴く。」なのです。

ヨハネは、「すべてのことが完了したのを知って、聖書が成就する為」に主イエス様が言われたと、言っています。この預言は、詩篇22篇と詩篇69篇に、「十字架の描写」として描かれています。

次に、イエス様は大声で「父よ。わが霊を御手にゆだねます。」と言われ、一番最後の言葉が、ヨハネだけが聞いた「完了した。」です。それは、父なる神様からイエス様に与えられた任務が、完了したことを意味しています。

『「私が来たのは律法や預言者を廃棄する為だと思っはなりません。廃棄する為ではなく、成就する為に来たのです。全部が成就されます。』』

イエス様は、人としての人生において、律法を守り、律法全部を成就する為に来られました。イエス様は、何一つ罪を犯されませんでした。私たちの罪の身代わりとして、死んで下さったのです。本来は死ぬべきではないにも関わらずに。なぜなら、罪の代価は、「死」であり「血を流す」ことなのです。人は自分の罪ゆえに死んで行くのです。そして死後に裁きを受けるのです。

しかし、この時に「救いの御わざ」が完了したのではありません。救いの御わざが完成するのは、三日目にイエス様がよみがえられた時となるのです。》

## ◎お知らせ

※次回礼拝は10月13日です。通常通り、第一礼拝は午前10時から、そして第二礼拝は午後6時から行ないます。また次回「聖書の学びと祈り会」は、10月9日(水)に行ないます。鈴木師は、10月7日(月)TPC昼礼拝奏楽、10月14日(月)罪人の友主イエス・キリスト教会(進藤牧師)の献堂式に出席します。